

公益財団法人ロッテ財団 2017年度事業報告

I 事業の状況

〔1〕奨学事業

1.応募状況および選考結果

(1) 奨学生の選考、決定

2017年2月8日開催の選考委員会において、推薦を依頼した23大学、3高校からの奨学生候補者35名について、選考審査を行った。

その結果、一般奨学生12名、渡日前採用奨学生5名、P.B.S奨学生4名、計21名を選定、理事長が決定した。決定した21名の奨学生については、推薦のあった大学・高校に通知した。

なお、渡日前採用奨学生の韓国および中国からの採用については、選考委員会より委任を受けた選考委員長が現地において、直接面接・選考を行ない、理事長が決定した。

(2) 2017年度奨学生

2017年度の奨学生は一般、P.B.Sに渡日前採用奨学生を加えて合計66名で、その内訳は、大学・大学院奨学生36名、渡日前採用奨学生24名、P.B.S奨学生6名である。

〔奨学生内訳〕

区 分		前年度 実績	新規 採用者	継続者	2017年度 実績	前年 対比
一般奨学生	学部・大学院	36	12	24	36	0
P.B.S(Post Bachelors Scholarship) 奨学生		3	4	2	6	+3
渡日前採用奨学生		26	5	19	24	-2
計		65	21	45	66	+1

(3) 奨学金の支給

①奨学金贈呈式

2017年6月3日奨学生への奨学金贈呈式を実施した。

②奨学金の支給

本年継続の奨学生41名に対し、月額18万円（高校生6万円）の奨学金を2017年4月～2018年3月まで12ヶ月間支給した。

新規奨学生21名（韓国からの渡日前採用奨学生1名含む）については、奨学金贈呈式終了後月額18万円の奨学金を4月に遡及し4月～6月分を6月末に支給し、その後については2018年3月分まで月額18万円を支給した。

また、中国からの渡日前採用奨学生4名については10月～3月までの滞在費月額18万円（高校生は6万円）を支給した。

なお、新規渡日前採用奨学生5名に対し、渡航支度金、大学入学金等の援助金としてそれぞれに108万円を支給した。

2. 学業および生活状況調査

2017年4月、継続奨学生に成績証明書および研究（学業）報告書を提出させた。

また、4月、5月、10月、11月、3月に奨学生と個別に面談し、勉学の状況、

成果の現況および生活状況の報告を受けた。このうち5月、10月は地方在住の奨学生についても面談を実施した。

3. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

奨学生交流会を次の通り開催した。

第1回 2017年 6月3日 (奨学金贈呈式・交流会)

第2回 2017年 8月7～9日 (研修旅行)

第3回 2017年 12月2日 (交流会)

第4回 2018年 3月3日 (卒業式・交流会)

(2) 社会見学

2017年9月28日 東京証券取引所見学 奨学生22名参加

(3) 研究発表会

2017年12月2日 ニューオータニ 発表者10名

(4) おせちの会

2018年1月5日「書道・茶道・おせち料理体験」（日本橋・銀座）奨学生29名参加

(5) 奨学生交流誌の発行

奨学生間、奨学生と財団の交流に資するため、2017年6月交流誌を発行した。

4. 奨学助成金額

合計 139,980,000円

[2] 研究助成事業

1.研究助成事業

(1) 主要日程

- ①2017年 4月1日 2018年度募集開始
- ②2017年 6月23日 「奨励研究助成」受付締切り
- ③2017年 7月14日 「研究者育成助成<ロッセ重光学術賞>」受付締切り
- ④2017年 9月4日 第3回若手研究者の集い、奨励研究助成研究発表会
- ⑤2017年 10月5日 第1回選考委員会（書類審査）
- ⑥2017年 10月18日 奨励研究助成採択者理事会承認
- ⑦2017年 11月9日 第2回選考委員会（面接審査）
- ⑧2017年 11月17日 研究者育成助成採択者理事会承認
- ⑨2018年 2月15日 第5回贈呈式、研究者育成助成研究発表会

(2) 応募状況

項目	研究者育成助成 〈ロッセ重光学術賞〉	奨励研究助成	合計
大学	国公立大学 13件 私立大学 5件 計 18件	国公立大学 69件 私立大学 21件 計 90件	108件
その他 研究機関	3件	6件	9件
計	21件	96件	117件

(3) 採択者一覧

資料A参照（次頁）

(4) 研究助成金額

合計 183,733,564円

助成対象者一覧

※所属機関・職位は2018年2月時点のものです。

研究者育成助成(ロッテ重光学術賞) 2名 (1件 15,000,000円)

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援 教員
1	おうもと まこと 鷹本 真	Monell Chemical Senses Center (米国) Research Associate	多様な味が生じる機構の分子基盤の確立	東京工業大学 バイオ 研究基盤支援総合セ ンター	准教授 廣田 順二
2	こん りさこ 今 理紗子	星薬科大学 生命科学先導研究セン ター 特任助教	腸内細菌と水輸送タンパク質の相互作用解析;プロバイオティクスの個別化を 目指して	星薬科大学 生命科学 先導研究センター	センター長・ 教授 亀井 淳三

助成金合計 30,000,000円

奨励研究助成 16名

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属機関・職位	研究課題	研究 期間	助成額 (万円)
1	いとう たかし 伊藤 崇志	福井県立大学 生物資源学部 講師	mTORによるタウリンセンシング機構の解明とサルコペ ニア治療戦略への応用	3	300
2	えんどう もとむ 遠藤 求	京都大学大学院 生命科学研究科 准教授	社会に受け入れられる植物の生長調節技術の開発	2	300
3	おの たけひと 小野 岳人	東京医科歯科大学大学院 歯医学総合 研究科 分子情報伝達学分野 助教	咀嚼強化による高次脳機能障害治療法の創出	3	300
4	きのした りんたろう 木下 林太郎	帯広畜産大学 グローバルアグロメ ディン研究センター 特任助教	非破壊土壌分析法と時系列衛星データの複合利用に よる土壌モニタリングシステムの構築	2	300
5	こさか さとこ 小坂 理子	東京大学大学院 医学系研究科 助教	インドネシア・西ジャワ農村の人びとはなぜ個食なの か?	1	110
6	こばやし まさのり 小林 正法	関西学院大学大学院 文学研究科 博士研究員	美味しさを変える:心理学的アプローチによる食物評 価の変化とそのメカニズムの解明	3	300
7	さかもと たかひく 阪本 鷹行	徳島大学 社会産業理工学研究部生物 資源産業学域 助教	ω3脂肪酸生産の実用化を目的とした微細藻類変異 株の構築	2	300
8	たしろ ゆきひろ 田代 幸寛	九州大学大学院 農学研究院 土壌環境微生物学分野 准教授	食循環利用を目指した複合微生物によるメタ発酵技 術の高効率化と基盤理論の構築	2	300
9	ながた ゆか 長田 夕佳	金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 衛生化学研究室 助教	レチノイン酸代謝を制御する食品成分による食物アレ ルギー体質の改善	2	298
10	のだ みつる 野田 満	首都大学東京 都市環境学部自然・文 化ツーリズムコース 助教	過疎山間集落の「記憶の採集」による食文化史の解 明と今日的活用に関する実践的研究	2	300
11	はらだ かずひろ 原田 和弘	神戸大学大学院 人間発達環境学研究 科 特命助教	買い物環境が高齢者の外出・日常身体活動量に及ぼ す影響:移動能力による差異	2	280
12	ますた はやと 増田 勇人	静岡県立大学 食品栄養科学部 助教	フリージング工程における複雑現象の理解と制御 - 理想のアイスクリームを目指して-	2	300
13	みぞかみ あきこ 溝上 顕子	九州大学大学院 歯学研究院 OBT研 究センター 講師	脂肪細胞表面受容体を介した栄養センシングと脂肪 蓄積の分子機構解明	2	300
14	やすお 安尾 しのぶ	九州大学大学院 農学研究院代謝・行 動制御学 准教授	食事リズムによる脳機能の調整	2	300
15	やまだ りょうすけ 山田 亮祐	大阪府立大学大学院 工学研究科 テニュアトラック助教	革新的ソノバイオリアクターによる油脂類の高効率微 生物生産	2	300
16	ギョーム・ロベス*	青山学院大学 理工学部 准教授	ウェアラブルセンサとIoTデバイスを用いた健康的な食 習い支援システム	3	300

助成金合計 45,880,000円

(4) 研究助成者の選考概要

1. 選考の方法、観点

(1) 選考方法

従来通り、「食と健康」に関連した幅広い分野からの申請があり、当助成事業の選考委員 8 名全員で申請書全件の書面審査を行い、選考委員会にて活発な議論を交わしたうえ、最終候補者を決定した。なお、「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」においては、まず書面審査で 5 名を選考し、後日、面接審査を実施した。

(2) 観点

「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」については、申請者が将来、自身の研究分野を切り拓き、同時に切り拓いた研究分野を先導し、社会のために広く貢献していける能力を有する研究者かどうか、さらに、「食と健康」の分野でどのように将来を展望しようとしているのかに主眼をおいて審査を行った。

「奨励研究助成」は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象としており、自然科学から人文・社会科学までの広域にわたる「食と健康」の分野において、研究上の独創性、チャレンジ性、萌芽性および将来性について審査を行った。

2. 選考結果

2017 年 10 月 5 日の選考委員会で、「奨励研究助成」助成対象候補者 16 名を選出し、10 月 18 日の理事会において採択を決定した。また、同選考委員会で、「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」の面接候補者も併せて選出し、11 月 9 日の選考委員会にて面接審査を実施、助成対象候補者 2 名を選出し、11 月 17 日の理事会において採択を決定した。

(5) その他

第 1 回研究者育成助成の助成者中島健一朗氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 特任助教）が 2017 年 6 月より、自然科学研究機構生理学研究室の准教授へ就任した。

また、第 1 回研究者育成助成の助成者田角聡志氏（東京大学大学院農学生命科学研究科附属水産実験所 特任助教）が 2018 年 6 月 1 日より、鹿児島大学水産学部の准教授へ就任予定。

II 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2017年5月17日 第27回	<ol style="list-style-type: none"> 「2016年度事業報告及び計算書類等承認」の件 「内閣府への事業報告等に係る提出書類承認」の件 「奨学事業選考委員選任承認」の件 今後の研究助成事業のあり方等について報告 光潤社の新株予約権割当に基づく払込の申し出に関する報告 	<p>全会一致で承認・可決</p> <p>全会一致で承認・可決</p> <p>全会一致で承認・可決</p>
2017年6月3日 第28回	<ol style="list-style-type: none"> 「株主権議決権行使承認」の件 代表理事、業務執行理事の職務遂行状況の報告 第6回評議員会の議決内容の報告 	全会一致で承認・可決
2017年10月18日 第29回	<ol style="list-style-type: none"> 「2018年度奨励研究助成 助成対象候補者承認」の件 	全員一致で承認・可決
2017年11月17日 第30回	<ol style="list-style-type: none"> 「2018年度研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉助成対象者承認」の件 	全員一致で承認・可決
2018年3月3日 第31回	<ol style="list-style-type: none"> 「2018年度事業計画・積立金取崩し・収支予算・資金調達および設備投資の見込みを記載した書類承認」の件 「特定資産運用承認」の件 「規程一部変更承認」の件 研究助成事業制度の見直しの報告 代表理事、業務執行理事の業務執行状況の報告 2018年度奨学事業採択者の報告 	<p>全会一致で承認・可決</p> <p>全会一致で承認・可決</p> <p>全会一致で承認・可決</p>

(2) 評議員会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2017年6月3日 第6回	1. 「評議員会議長互選」の件 2. 「議事録署名人選出」の件 3. 「2016年度決算承認」の件 4. 「評議員選任承認」の件 5. 「常勤役員報酬承認」の件 6. 2016年度事業報告 7. 2017年度事業計画および積立金取崩し・収支予算書・資金調達および設備投資の見込みを記載した書類承認報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(3) 選考委員会

① 奨学事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2017年9月7日 第1回	1. 「選考委員長及び副委員長の互選」の件 2. 「議長及び議事録署名人選出」の件 3. 「2017年秋採択奨学生選考面接」の件 4. 中国渡日前奨学生面接報告	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
2017年12月2日 第2回	1. 「2018年度延長奨学生選考」の件	全会一致で承認・可決
2018年2月21日 第3回	1. 「2018年度奨学生選考面接」の件 2. 2018年度韓国渡日前奨学生についての報告	全会一致で承認・可決

② 研究助成事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2017年10月5日 第1回	1. 「2018年度奨励研究助成 助成対象候補者決定」の件 2. 「2018年度研究者育成助成 面接候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2017年11月9日 第2回	1. 「2018年度研究者育成助成対象候補者決定」の件	全会一致で承認・可決

Ⅲ 事業報告及び附属明細書

記載する事項無し

以上